

愛の献血にご協力を

5月18日(月)
10:00 ~ 12:00

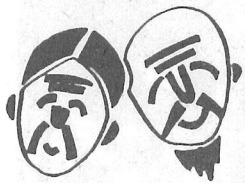
役場裏庭で採血車が
お待ちしております!

町では、結婚五十周年を迎えられるご夫婦をお祝いし、記念品を贈呈する予定です。
これは、「敬老の日」の行事の一つとして、町が毎年行っているものです。
結婚五十周年のご夫婦は、昭和六年九月一日から、昭和七年八月三十一日までの間に結婚し、ご夫婦ともに健在な方です。
該当される方は、今月の二十日

結婚五十周年夫婦 該当者は連絡を!

5月20日
まで

までに、ご連絡ください。
連絡、およびお問い合わせは、
役場福祉係(二二二二内線47)
までお願いします。



▲ 4年後の再会を約束して稚魚は栗山川へ

「大きくなって、帰ってくるんだよ...」という子供たちの願いをこめて、今年も、サケの稚魚が放流されました。

八十五万匹の稚魚は、トラックで、千葉県内水面水産試験場(佐倉市)から運ばれ、午前十一時ごろから、大総小学校児童(三十名)

おきくになって 帰ってくるんだよ... サケの流 稚魚放

東陽小学校児童(三十名)、栗山川漁業協同組合などの関係者によってつぎと放流されました。
稚魚は、しばらくの間、別れを惜んでいるかのように、5cmほどの姿を水面に漂わせていました。
そのうち、四年後の再会を約束したかのように水面下に姿を消して、数千kmにおよぶ旅に出かけて行きました。
水産試験場では昭和五十二年から毎年放流を実施、今回を含めると、百八十五万七千匹の稚魚を放流しています。



テレビを乱す 電離層

毎年5月から8月にかけては、テレビやFM放送にとっては、ゆううつな季節です。

この季節になると、地上から100kmぐらいの上空に「スプラディックE層」という電離層が発生し、遠く1000kmから2000kmもはなれた放送局の電波がこれにはね返り、テレビの画面を乱したりします。

特に、千葉県の太平洋岸は東京タワー方向と中国や韓国の方向が同じになるため影響を受けやすくなっています。

また、このような障害は「電波ジャック」や「アマチュア無線の妨害」などとは関係ありません。

電離層は、雨雲のように午前と午後の比較的短い時間に局部的に発生し、1時間から3時間もすれば自然と消えるのが特徴で、外国でも日本の電波によって、同じような現象が発生しています。

郵政省電波研究所やNHK技術研究所では、毎年調査や研究を続けており、千葉放送局でも実験を開始しています。お問い合わせは、NHK千葉放送局(0472-27-7311)まで。

スプラディックE層

